NEWS LETTER

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビル
Tel. 03-3272-1666(代)
日本百貨店協会

１４時３０分解禁

平成２８年１１月　全国百貨店売上高概況

平成２８年１２月２０日

Ⅰ．概　況

１．売上高総額	５，２５７億円余
２．前年同月比	－２.４％（店舗数調整後／９か月連続マイナス）
３．調査対象百貨店	８１社　２３４店　（平成２８年１０月対比±０店）
４．総店舗面積	５，８９８，１９９㎡　（前年同月比：－２.３％）
５．総従業員数	７４，４６０人　（前年同月比：－３.７％）
６．３か月移動平均値（店舗数調整後）	4-6月　－４.１％、5-7月　－２.８％、6-8月　－２.９％、7-9月　－３.４％、8-10月　－４.９％、9-11月　－３.７％

［参考］平成２７年１１月の売上高増減率は－２.７％（店舗数調整後）

【特 徴】

１１月の売上高は前年同月比２.４％減。休日１日減の影響もあり、９か月連続のマイナスに終わった。内訳としては、国内市場（ｼｪｱ97.2%）が２.３％減。インバウンド（ｼｪｱ2.8%）は、売上が７.１％減と８か月連続で前年を下回ったものの、本年４月以来７か月ぶりにマイナス幅を１桁へと縮めている。なお、購買客数は１２.２％増で４６か月連続のプラスを記録している。

地区別では２か月連続で１８地区全てが前年割れ。１０都市計が２.２％減、１０都市以外計も２.８％減に終わっている。また、規模別でも全ての店舗規模が前年に届かず。

商品別では、主要５品目（衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品）が４か月連続で揃って前年割れとなった。また、昨年１１月は高温の影響により伸び悩んだ衣料品は、気温の低下にあわせ防寒アイテムが動き、２.４％減と回復の兆しは見られるものの、前年を捉えるまでに至らず。食料品はギフト客の買い回り効果もあり、休日減の条件下にありながらも０.６％減と健闘を見せた。なお、化粧品は５.１％増で２０か月連続前年を確保した。

年間最大売上となる１２月は、身のまわり品や雑貨、食料品のシェアが高まることから、来店客の需要を確実に捉え、３連休を含む歳末商戦に臨みたい。

【要 因】

(1) **天　候**　：　気象庁発表「１１月の天候」の特徴は以下のとおり（一部抜粋）

◇本州付近は低気圧と高気圧が交互に通過し、東・西日本の天気は終日の周期で変わり、寒暖の変動が大きかった。上旬は気温が低く東・西日本太平洋側を中心に晴れの日が多かった。下旬は曇りや雨の日が多く、24 日は強い寒気が流れ込み、関東甲信の広範囲で季節外れの雪となり、11 月としては記録的積雪となったところがあった。

(2) **営業日数増減**　　３０．０日（前年同月比　＋０.１日）

(3) **土･日･祝日の合計**　　１０日（　〃　　－１日／日曜１日減）

(4) **入店客数増減**（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数１３４店舗）

①増加した：２０店、②変化なし：３２店、③減少した：８２店

(5) **１１月歳時記**（歳暮、七五三）**の売上**（同上／有効回答数９８店舗）

①増加した：１７店、②変化なし：４９店、③減少した：３２店

NEWS LETTER

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビル
Tel. 03-3272-1666(代)
日本百貨店協会

全国百貨店　売上高速報 2016年11月

第1表　地区別売上高

※店舗数調整後（　）が調整前

地　区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(−)率 (%) ※
全 国	**525,791,762**	**100.0**	**−2.4 (−3.0)**
10都市	**356,685,464**	**67.8**	**−2.2**
札幌	12,998,224	2.5	−0.7
仙台	7,007,668	1.3	−4.4
東京	144,119,144	27.4	−1.4
横浜	32,153,282	6.1	−2.5
名古屋	31,842,417	6.1	−2.5
京都	21,494,511	4.1	−2.2
大阪	65,833,835	12.5	−3.5
神戸	13,042,863	2.5	−4.6
広島	10,982,015	2.1	−1.9
福岡	17,211,505	3.3	−1.6
10都市以外の地区	**169,106,298**	**32.2**	**−2.8 (−4.5)**
北海道	1,636,279	0.3	−3.7 (−37.8)
東北	8,463,331	1.6	−1.2 (−1.8)
関東	76,789,518	14.6	−2.7 (−5.2)
中部	12,161,127	2.3	−3.4
近畿	22,331,192	4.2	−4.5
中国	12,254,866	2.3	−3.3
四国	8,512,117	1.6	−6.5
九州	26,957,868	5.1	−0.4

第2表　商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(−)率 (%) ※
総　　額	**525,791,762**	**100.0**	**−2.4 (−3.0)**
紳士服・洋品	39,351,358	7.5	−2.8 (−3.2)
婦人服・洋品	106,835,905	20.3	−2.0 (−2.5)
子供服・洋品	10,557,845	2.0	−3.6 (−4.1)
その他衣料品	11,744,586	2.2	−3.8 (−4.6)
衣　料　品	**168,489,694**	**32.0**	**−2.4 (−2.9)**
身のまわり品	**62,067,966**	**11.8**	**−4.8 (−5.2)**
化粧品	38,335,153	7.3	5.1 (4.5)
美術・宝飾・貴金属	27,991,089	5.3	−9.7 (−10.1)
その他雑貨	18,812,652	3.6	−5.9 (−6.7)
雑　　貨	**85,138,894**	**16.2**	**−2.7 (−3.2)**
家　具	5,514,610	1.0	−10.8 (−11.1)
家　電	2,424,546	0.5	10.9 (10.9)
その他家庭用品	15,170,949	2.9	−7.3 (−7.7)
家 庭 用 品	**23,110,105**	**4.4**	**−6.6 (−6.9)**
生 鮮 食 品	32,599,948	6.2	−0.8 (−1.6)
菓　子	38,387,346	7.3	−0.3 (−0.8)
惣　菜	32,362,476	6.2	−0.7 (−1.0)
その他食料品	55,023,647	10.5	−0.8 (−1.4)
食　料　品	**158,373,417**	**30.1**	**−0.6 (−1.2)**
食 堂 喫 茶	**12,611,913**	**2.4**	**−6.7 (−7.5)**
サ ー ビ ス	**5,348,230**	**1.0**	**−0.1 (−1.6)**
そ の 他	**10,651,543**	**2.0**	**0.6 (0.6)**
商　品　券	**18,189,574**	**3.5**	**−4.3 (−4.5)**

注）構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビル
Tel. 03-3272-1666(代)
日本百貨店協会

Ⅱ．地区別の動き

１．１０都市売上動向	－２．２％（９か月連続マイナス）
２．１０都市以外の地区売上動向	－２．８％（店舗数調整後／１３か月連続マイナス）

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
１０都市	**－２．２**	**－１．５**	**９か月連続マイナス**
札　幌	－０．７	０．０	２か月連続マイナス
仙　台	－４．４	－０．１	９か月連続マイナス
東　京	－１．４	－０．４	４か月連続マイナス
横　浜	－２．５	－０．２	１１か月連続マイナス
名古屋	－２．５	－０．１	１１か月連続マイナス
京　都	－２．２	－０．１	８か月連続マイナス
大　阪	－３．５	－０．４	１１か月連続マイナス
神　戸	－４．６	－０．１	４か月連続マイナス
広　島	－１．９	０．０	２か月連続マイナス
福　岡	－１．６	－０．１	４か月連続マイナス
10 都市以外の地区	**－２．８**	**－０．９**	**１３か月連続マイナス**
北海道	－３．７	０．０	２か月連続マイナス＊
東　北	－１．２	０．０	１３か月連続マイナス＊
関　東	－２．７	－０．４	１８か月連続マイナス
中　部	－３．４	－０．１	９か月連続マイナス
近　畿	－４．５	－０．２	４か月連続マイナス
中　国	－３．３	－０．１	４か月連続マイナス＊
四　国	－６．５	－０．１	９か月連続マイナス
九　州	－０．４	０．０	４か月連続マイナス＊

（注）北海道、東北、中国、九州については、２００６年１月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を１０都市に移行した。（２００５年までは６大都市）

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビル
Tel. 03-3272-1666(代)
日本百貨店協会

Ⅲ. 商品別の動き

主要５品目は、４か月連続で全品目がマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が２０か月連続のプラス、家電が２か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	**－２．４**	**―**	**９か月連続マイナス**
紳士服・洋品	－２．８	－０．２	４か月連続マイナス
婦人服・洋品	－２．０	－０．４	１３か月連続マイナス
子供服・洋品	－３．６	－０．１	７か月連続マイナス
その他衣料品	－３．８	－０．１	１３か月連続マイナス
衣料品	**－２．４**	**－０．８**	**１３か月連続マイナス**
身のまわり品	**－４．８**	**－０．６**	**４か月連続マイナス**
化粧品	５．１	０．３	２０か月連続プラス＊
美術・宝飾・貴金属	－９．７	－０．６	９か月連続マイナス＊
その他雑貨	－５．９	－０．２	４か月連続マイナス＊
雑貨	**－２．７**	**－０．４**	**４か月連続マイナス**
家具	－１０．８	－０．１	９か月連続マイナス
家電	１０．９	０．０	２か月ぶりプラス
その他家庭用品	－７．３	－０．２	８か月連続マイナス
家庭用品	**－６．６**	**－０．３**	**１１か月連続マイナス**
生鮮食品	－０．８	０．０	３２か月連続マイナス＊
菓子	－０．３	０．０	４か月連続マイナス＊
惣菜	－０．７	０．０	４か月連続マイナス＊
その他食料品	－０．８	－０．１	２か月連続マイナス＊
食料品	**－０．６**	**－０．２**	**９か月連続マイナス**
食堂喫茶	**－６．７**	**－０．２**	**１３か月連続マイナス**
サービス	**－０．１**	**０．０**	**５か月ぶりマイナス**
その他	**０．６**	**０．０**	**２か月連続プラス**
商品券	**－４．３**	**－０．２**	**６９か月連続マイナス**

（注）化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については２００６年１月から細分化した。

NEWS LETTER
〒103-0027
東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビル
Tel. 03-3272-1666(代)
日本百貨店協会

平成２８年１１月　東京地区百貨店売上高概況

平成２８年１２月２０日

Ⅰ．概　況

１．売上高総額	１，４４１億円余
２．前年同月比	－１．４％（４か月連続マイナス）
３．店頭・非店頭の増減	店頭－１．０％（９０．０％）：非店頭－５．０％（１０．０％） （ ）内は店頭・非店頭の構成比
４．調査対象百貨店	１３社　２５店　（平成２８年１０月対比±０店）
５．総店舗面積	８８２，５０３㎡　（前年同月比：２．９％）
６．総従業員数	１８，９０８人　（前年同月比：－０．８％）
７．３か月移動平均値	4-6月 －３．１％、5-7月 －２．２％、6-8月 －２．６％、 7-9月 －２．６％、8-10月 －４．５％、9-11月 －３．０％

［参考］平成２７年１１月の売上高増減率は０．２％

【特 徴】

(1) １１月の入店客数は、日曜１日減や一部店舗で季節外れの降雪の影響を受けながらも、０．１％減でほぼ前年並みで推移。売上高は改善傾向を見せてはいるが１．４％減で４か月連続のマイナスに終わっている。

(2) 商品別では主要５品目のうち、食料品が０．６％増で４か月ぶりにプラスに転じた。また、昨年伸び悩んだ衣料品は、気候低下に伴い重衣料を中心に動きを見せたものの、０．５％減でわずかに前年に届かなかった。

(3) 細分類では、化粧品が６．０％増で２０か月連続プラスを記録しているほか、クリスマスケーキの早期受注が好調な菓子が０．４％増で４か月ぶり、歳暮が堅調なその他食料品が２．８％増と２か月ぶりにプラスに転じている。

(4) 個別商材では、コートやマフラーなどの防寒衣料が好調。都心店舗では、通勤時利用の婦人チェスターコートやダッフルコートなどに人気が集まっている。また、本年はクリスマスが週末３連休にあたることから、自宅で家族と過ごす傾向が見られることで、自宅配送用のクリスマスケーキに伸びが見られる。

(5) １２月は１５日現在２％強のマイナスで推移。なお、米国大統領選をきっかけとした円安・株高による消費マインドの盛り上がりについては、限定的との報告が入っている。

【要 因】

(1) **営業日数増減**　　３０．０日（前年同月比　±０日）

(2) **入店客数増減**（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数１９店舗）
①増加した：７店、②変化なし：３店、③減少した：９店

(3) **１１月歳時記**（歳暮、七五三）**の売上**（同上／有効回答数１０店舗）
①増加した：２店、②変化なし：４店、③減少した：４店

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビル
Tel. 03-3272-1666(代)
日本百貨店協会

東京地区百貨店　売上高速報 2016年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(−)率(%)
総　　額	**144,119,144**	**100.0**	**−1.4**
紳士服・洋品	12,743,877	8.8	−1.4
婦人服・洋品	25,913,343	18.0	−0.6
子供服・洋品	2,382,197	1.7	−0.2
その他衣料品	2,653,651	1.8	5.8
衣　料　品	**43,693,068**	**30.3**	**−0.5**
身のまわり品	**18,372,645**	**12.7**	**−5.7**
化粧品	11,618,104	8.1	6.0
美術・宝飾・貴金属	8,303,822	5.8	−11.9
その他雑貨	5,684,331	3.9	−2.8
雑　　貨	**25,606,257**	**17.8**	**−2.4**
家　具	1,591,068	1.1	−4.8
家　電	1,825,893	1.3	19.2
その他家庭用品	4,212,978	2.9	−10.0
家庭用品	**7,629,939**	**5.3**	**−3.2**
生鮮食品	6,389,662	4.4	−1.1
菓　子	10,184,042	7.1	0.4
惣　菜	8,032,937	5.6	−1.6
その他食料品	15,339,513	10.6	2.8
食　料　品	**39,946,154**	**27.7**	**0.6**
食堂喫茶	**2,986,575**	**2.1**	**−4.6**
サービス	**2,211,043**	**1.5**	**5.7**
そ　の　他	**3,673,463**	**2.5**	**−2.6**

注）構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(−)率(%)
商品券	4,283,608　千円	−3.8
従業員数	18,908　人	−0.8
店舗面積	882,503　㎡	2.9

営業日数	30.0　日	前年	30.0　日

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビル
Tel. 03-3272-1666(代)
日本百貨店協会

Ⅱ．商品別の動き

主要５品目は、食料品が４か月ぶりのプラスとなった。その他の品目は、全国同様化粧品が２０か月連続のプラス、その他衣料品、家電、その他食料品が２か月ぶり、菓子が４か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	**－１．４**	**―**	**４か月連続マイナス**
紳士服・洋品	－１．４	－０．１	４か月連続マイナス
婦人服・洋品	－０．６	－０．１	１３か月連続マイナス
子供服・洋品	－０．２	０．０	５か月連続マイナス
その他衣料品	５．８	０．１	２か月ぶりプラス
衣料品	**－０．５**	**－０．１**	**１３か月連続マイナス**
身のまわり品	**－５．７**	**－０．８**	**４か月連続マイナス**
化粧品	６．０	０．５	２０か月連続プラス＊
美術・宝飾・貴金属	－１１．９	－０．８	９か月連続マイナス＊
その他雑貨	－２．８	－０．１	４か月連続マイナス＊
雑貨	**－２．４**	**－０．４**	**４か月連続マイナス**
家具	－４．８	－０．１	３か月連続マイナス
家電	１９．２	０．２	２か月ぶりプラス
その他家庭用品	－１０．０	－０．３	７か月連続マイナス
家庭用品	**－３．２**	**－０．２**	**３か月連続マイナス**
生鮮食品	－１．１	－０．１	９か月連続マイナス＊
菓子	０．４	０．０	４か月ぶりプラス＊
惣菜	－１．６	－０．１	５か月連続マイナス＊
その他食料品	２．８	０．３	２か月ぶりプラス＊
食料品	**０．６**	**０．２**	**４か月ぶりプラス**
食堂喫茶	**－４．６**	**－０．１**	**１１か月連続マイナス**
サービス	**５．７**	**０．１**	**５か月連続プラス**
その他	**－２．６**	**－０．１**	**１６か月ぶりマイナス**
商品券	**－３．８**	**－０．１**	**２１か月連続マイナス**

（注）化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については２００６年１月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会　森・関　まで
TEL 03-3272-1666　ホームページアドレス　http://www.depart.or.jp